

(別表第1の4)

事業所名 グループホームあゆーら

目標達成計画

作成日：平成 22年 6月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	「いつも笑顔の絶えない家作り」を基本目標として掲げ、さらに具体的な目標を設けて、毎月のミーティング時に職員全員で話し合っケアの実践につなげている。基本的目標の中に、地域密着型サービス事業所としての意義や役割が十分盛り込められているとまでは言えない。	地域との付き合いを大切に「地域密着型サービス」の意義や役割を明示した理念を全職員で検討し、重要書類に記載して利用者及び家族に説明し、ホームの要所に掲示して地域への啓発にも役立てるといった取り組みをしていく。	理念を地域密着に関する項目を最上部にする。 理念を重要事項説明書に盛り込み利用者やご家族に説明する。 理念を大きく引き伸ばし、ホームの要所に掲示する。	随時取組中	
2	3	会議では利用者の様子やホームの行事、現状等を報告しているが、出席者から要望や意見等が十分だされているとまでは言えない。	会議はおおむね2ヶ月毎の周期で定期的開催し、家族代表、地域代表者等の参加を促し、さらにテーマによって新たな出席者を検討するなど、ホームへの要望や声を聞き取ってケアに活かす取り組みをしていく。	町内会長へ参加の要請をする。 家族に参加の協力を促す。 民生委員さんへ参加の協力をお願いする。	達成	町内会長からは、参加していただく返事をいただく。 一部のご家族から参加のご協力をいただく。 民生委員さんは、都合が合わないということで不参加。
3	13	年2回の避難訓練を行い、うち1回は消防署の指導を受けて実施している。マニュアル、緊急連絡網を作成して事務所に備えている。地域との協力体制が十分築かれているとまでは言えない。	運営推進会議を通じて災害時等の協力を依頼し、地域との協力体制を確立していく。	町内会長へ災害時の協力を促すとともに、地元自警団等の情報を頂き、協力体制を築く。 近隣の3グループホームの協力体制を築く。	達成	町内会長からは、回覧板や区内通達等を利用して、区内の情報をいただけるようになった。 災害時に近隣の3グループホームで協力し合う旨の確約をいただく。
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。